

## (株)三松

# 最新設備拡充で 多品種少ロットの製造体制を強化



九州最大級の塗装専用の自動ライン

### 最新型の自動塗装ラインを導入

シートメタル（薄物板金）をベースに各種装置の部材加工から溶接、塗装、組み立て（アッセンブリー）まで一貫体制を確立した(株)三松。年明けには最新型の自動塗装ラインを導入し、塗装作業の飛躍的な効率アップと品質向上を果たした。

九州最大級の設備は大型パーツの加工を可能にただけでなく、センサーによる自動認識でサイズに応じた必要最小限の塗装吹きつけを実現。超微粒子による吹きつけは、色むらがなく隅々まで浸透し、粉体、メラニン、フッ素、ウレタンとあらゆる塗装も可能とした。また、今まで1時間を要していた色替作業もわずか90秒で自動切替でき、生産効率は飛躍的に向上した。新ライン導入で、今まで以上に多品種少ロットのニーズに応える体制を整えたといえよう。

### 最新機器導入で市場を開拓

1972年にシートメタル加工で第1歩を踏み出した同社だが、今では精密機器から各種機械、建設部材、ダクト、空調機器など、その分野は多岐に広がる。単なる金属加工メーカーに止まることなく、品質向上と効率化を追求してきたことで、次々に新しい市場を開拓してきた。

06年には業界初の3DCAD連動溶接ロボットを導入。昨年は新型の切削機械（マシニングセンター）に続き、大型レーザー加工機を導入した。従来のレーザー加工機やプレス機では難しかったアルミなどの軟加工物やパイプなどの立体的な部材加工も可能となり、作業効率化と品質向上はもちろん、受注拡大を実現している。今回の塗装ラインの導入で、さらに市場は広がることだろう。

### 金属家具・雑貨ブランド「金属王」

その一方、昨年6月には金属を使った家具・雑貨ブランド「金属王」を立ち上げた。福岡市内のデザイナー集団「デザイン特区」と共同開発したもので、感性豊かなプロのデザイン性と同社の金属加工技術が金属の新たな可能性を生み出した。今春、東京ミッドタウンで開かれた「九州



安岡 貞勝（やすおか さだかつ）社長  
1950年3月18日生まれ58歳。筑紫野市出身。福岡大学経済学部卒。趣味はゴルフ

のブランドデザイン展」にも出展し、来場者の注目を集めている。

少ロット製造代行サービスで多種多様なニーズに応えてきた同社。その過程で培ってきた技術が新境地を開いたといえよう。「金属王」製品の1例



<b>企 業 DATA</b>	<b>(株)三松</b>
[所在地]〒818-0013 筑紫野市岡田3-10-9	
[TEL]092-926-4711	
[FAX]092-926-2048	
[設立]1972年3月	
[資本金]8,500万円	
[事業内容]液晶・半導体装置部品、通信インフラ設備、食品加工機械部品、建築部材、ダクト、空調機器などの製造	
[年商]21億7,154万円（07年6月期）	
[代表者]安岡貞勝	
[従業員]124人	
[出先]（工場）夜須工場（朝倉郡筑前町）	
[URL]http://www.sanmatsu.com	